

## “新型コロナの検査や治療に関して・・・”

現在、当院は整形外科、リハビリ科、乳腺外科を中心に治療を行っており、入院患者さんは人工関節と乳がん関連の患者さんがほとんどで、外来通院も人工関節置換術は高齢者が多く、乳がん患者さんは抗がん剤などの化学療法を行っている方が多いため、健康な方々よりも免疫機能が低下しており、今までも感染症の患者さんは受け入れることが出来ませんでした。

新型コロナ感染症に関しても、呼吸器内科の常勤医師はおりませんし、PCRの検査機器もありません。リスクの高い外来および入院患者さんを守る為にも、今まで通り高熱・咳など上気道感染兆候のある患者さんには他の医療機関への受診をお願いします事にご理解・ご協力をお願いします。



## センター長の国内探訪記 “伊勢の巻”

第47回日本股関節学会が令和2年10月に三重大の主幹で行われ、せっかくの三重なので学会後に少し足を延ばして伊勢神宮まで参拝に訪れました・・。

新型コロナ関連でもっと人出が少ないと思っていましたが、第2波前のGo toトラベルの効果で、おかげ横丁にもかなり多くの観光客がいらっしやりビックリしましたが、伊勢神宮の内宮は、いつもながらの凛とした清らかな空気に満たされた気持ちの良い空間でした。

学会発表前は日常の業務後に医療データをまとめ、多くの関連論文を読み、発表スライドを作成したりと大忙しですので、その後の少しばかりの気休めにその地方の名物を食べたり、学会で会う他の地域のドクターと意見交換したりするのが楽しいのですが、今回はコロナの関係で、基本的に独りで行動する少々寂しく、残念な伊勢訪問となりました・・。



- 人工関節に特化した「人工関節センター」と乳がん診療に特化した「ブレストセンター」を開設しており、より高度な専門医療を提供しております。
- 関節外来：岡 史朗 月・火・水曜午前9時から12時
- 関節外来：相原雅治 水・木・金曜午前9時から12時
- スポーツ外来：廣瀬毅人 金曜 午後4時半から7時
- 理学療法士：岡本浩明・樋口慧・小山晴菜・藤原由佳子
- 受付時間：平日午前9時～11時半、午後4時半～6時半
- (水曜夜診休診)

土曜午前9時～11時半 (祝日休診)

相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000  
 箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052  
 ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている“強い気を持っている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にお伝えください。

## 「ぶらな」

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

相原病院・人工関節センターはこの10年間、国公立の基幹病院と同レベルの専門医療を提供しております。手術件数は大病院と同等以上ですが、リハビリを含めた治療内容は個人に合わせたアットホームな雰囲気を持続しつつ、これからも更に最新で高度な医療を提供し続けることを常に心がけて診療にあたっております。

## “新型コロナ感染症(COVID-19)に関して”

「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルス自体は、一般の風邪の原因となるウイルスで、自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して体内に入り込んで増殖します。ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができません。物に付着するだけと言われ、物の表面についてウイルスは時間がたてば壊れます。ただし、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつと言われていています。石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができますので有効です。手指消毒用アルコールも同様に脂肪の膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。マスクも感染を完全に予防できるものではありませんが、予防のみならず、広げるリスクを減らす目的でも有用と思われます。

感染者数や死亡者数などのデータは厚生労働省や各市町村のホームページで更新されていますが、感染しても無症状の方も多数いますので、正確な総数を調べることは不可能なため、数字を過度に恐れる必要はありません。



まだ明らかな治療法が確立されておらず、現時点では、「正しい情報を知り、的確におそれる・・・」しか対応はないと思います。ワクチンも開発され、海外では接種が開始されていますが日本での接種は春以降で、効果も未知数です。日々の感染予防、外出時のマスク使用、体調が悪い時は無理をしない、大声で騒がない等々、一人ひとりが気を付けて予防するしかありません。当院でも、マスク着用や面会禁止など患者の皆さんにご不便をお願いしておりますが、我々も現時点で出来ることをやっつけていこうと考え、感染予防を取りながら地域医療のお役に立てるように日々努力を致しております。

相原病院・人工関節センター新聞  
 第19号  
 令和3年1月吉日



近隣病院の人工関節手術数 (H30,R1年)

病院名	症例数
相原病院 (R元年)	226
(R2年)	213
箕面市立病院	49
市立豊中病院	141
市立池田病院	121
大阪医科大学病院	158
宝塚市立病院	52
済生会千里病院	68
済生会吹田病院	107
北野病院	105



医療法人 啓明会  
**相原病院**  
 Provides the best medical service

“なかなか重苦しい時代ですが・・・”

センター長 相原 雅治

啓明会 相原病院は昨年で創立45年となり、新病院に移り人工関節センターを設立してからもう10年が経ちました。次の10年に向けて、更なる飛躍を！と思っていた矢先に新型コロナウイルスの問題が起こりました。

令和2年の春頃は、手術を止めるべきか？ 病棟も閉じるべきか？ 外来も制限するべきか？・・・等々悩みは尽きませんでした。他の近隣基幹病院がコロナ対応で頑張っている分、患者さんご本人は関節が痛いので早く手術はしたいけれど、医療界全体の緊急度では人工関節は急がなくてもいい手術に分類された関係で他院で手術ができず当院に紹介された患者さんもおられ、出来る限りの徹底した感染対策をしながら人工関節センターは稼働を続けてきましたが、この10年で初めて手術数が減りました。病棟の密度を下げる上では結果的に良かったかと思っています。

今後の第4波、第5波などを考えると不安が無いと言えば嘘になります。ただ、現状としてはその時、その時に出来ることを粛々とやっていくしかない！と考えて、チーム一丸となり安全・安心な専門医療を提供していこうとスタッフみんなで努力しています。



8:30 ~ 10:00 パネルディスカッション1：THAのアプローチ	
座長 星野 裕徳 (浜松医科大学 整形外科教室) 相原 雅治 (相原病院人工関節センター)	
1-2-PD1-1	ALSAの安全性と有効性について Safety and effectiveness of ALSA 丸の内病院 整形 磯田 昌司 ..... 197 Dept. of Orthop. Surg., Marunouchi Hosp. Masashi Nawata
1-2-PD1-2	筋非切離前外側進入法 (OCM) を用いた人工股関節置換術の中間成績と問題点 Midterm results and problems of total hip replacement using muscle sparing antero-lateral approach (OCM) 日産玉川股関節センター 松原 正明 他 ..... 197 Dept. of Orthop. Surg., Nissan Tamagawa Hosp. Masaki Matsuhara
1-2-PD1-3	仰臥位前方進入法によるTHA - 重度の臼蓋形成不全症に対する手術手技 - Total hip arthroplasty by the direct anterior approach/procedure for severe dysplasia 船橋整形外科病院 老沼 和弘 他 ..... 198 Funabashi orthopedic hospital Kazuhiro Onuma
1-2-PD1-4	Leg positionerを使用した低侵襲組織温存前方進入法 (AMIS) An incision-sparing direct anterior approach (AMIS) with the use of a leg positioner 静岡日本病院 整形 西脇 徹 他 ..... 198 Joint Reconstruction Center, Dept. of Orthop. Surg., Japanese Red Cross Shizuoka Hospital Tetsu Nishiwaki
1-2-PD1-5	筋腱温存後方アプローチ Short rotator preserving posterior approach 福島医大 整形 青田 忠郎

一昨年に引き続き、昨年も日本股関節学会のパネルディスカッションの座長という責任ある役割を任せられました。学会もwebが中心となり、学会会場も発表者や関係者のみの閑散とした空間となり、他府県の先生らと直接情報交換が出来ず、とても寂しい状況でした。

今後、ワクチンの効果がみられ、ウィルスの毒性が下がリインフルエンザなどと同じ普通の感染症になってくれる日を待ちつつ、この重苦しい時代からの復活を願ってやみません・・・。

## -リハビリテーション科の現状-

理学療法士 岡本 浩明

リハビリテーション科は岡史朗部長のもと、2009年に1名の理学療法士からスタートし、現在では4名の理学療法士が365日術後のリハビリテーション(リハビリ)を中心に奮闘しています。ただし、リハビリは理学療法士のみで行うものではなく、医師や看護師はもちろん、薬剤師や管理栄養士、時には医療事務とも連携して行うチーム医療です。当院には常に必要な時に関連スタッフ間でコミュニケーションを図れる環境があり、全スタッフが互いに手を取り合ってオーダーメイドのリハビリを提供しています！

### ●令和元年度の実績

令和元年度のリハ実施延べ件数は、入院リハビリが6,116件(259名)、外来リハビリが3,673件(297名)と数多くのリハビリを実施することが出来ました。当院のリハビリは、患者さん一人ひとりの症状や身体の状態・生活環境に合わせた理学療法を提供するよう努めています。そのため、自身の知識・技術の研鑽や更新のための研修会参加、学んだ知識や経験を再考するための学会発表や研究会発表を積極的に行っています。また、箕面市在住高齢者向け講演会や、若手理学療法士向け研修会などの講師活動も行っています。

### ●デイケアをはじめました

今まで入院や外来通院中の患者さんへのリハビリを行なってきました。そのため、患者さんから「自身のことをよく分かってきている理学療法士に、ずっとリハビリしてもらえるのは嬉しい」という声をよくお聞きします。一方で、介護保険の認定を受けられた方(要介護者)のリハビリは制度上、他の施設にお任せする必要がありました。

そこで、令和2年8月より新たに要介護者を対象とした通所リハビリ(いわゆるデイケア)を開始しました。当院で過去にリハビリを受けていた方のみを対象としていますが、今後希望者が増えれば対象となる方を広げていけたらと考えています。

### ●リハビリは痛みを我慢するもの？！

「リハビリって痛いんでしょ？」と患者さんの多くから耳にする言葉です。これ、実は間違いです。たしかに、身体の状態や症状によって痛みを伴うことがあるのは事実です。しかし、基本的には痛みを出さないようにリハビリを行なっていきます。

リハビリを受けられる方の多くは、身体のどこかに痛みや不調を訴える方です。にもかかわらず、その痛みを治すためにもっと痛いリハビリをするって、どこか違和感を感じませんか？痛みを我慢してリハビリや日常生活を続けることは、更に痛みを増強させたり、別の関節や筋肉の痛みを作ってしまう可能性があります。

そのため我々理学療法士は、痛みの原因(筋肉や腱などの組織)とその痛みの原因(身体の使い方や動きの不調)を評価し、最終的に痛みや不調の出にくい身体を作ることを目標にリハビリを実践しています。

